

オーガニックビレッジ自治体リレートーク

2011年 日本初 世界農業遺産(GIAHS)に認定



トキとの共生を目指した
「生きものを育む農法」や
棚田などの風景、
伝統的な農文化などが評価され、
日本で初めて世界農業遺産に認定

認定された農業遺産システム名
「トキと共生する佐渡の里山」





2024年 世界文化遺産登録決定



相川金銀山（道遊の割戸） 1601年～



小倉千枚田（17世紀中頃～）

佐渡島の金山の発展がきっかけとなって作られた佐渡の里山で



トキは日本で最後まで生息できた



■2007年 「朱鷺と暮らす郷」認証米 制度設計

佐渡の農業を取巻く二つの危機
「トキと生物多様性の喪失」と「農家の疲弊」

なぜ有機農業に取組まなかったのか?
高くて誰も買えない米を作っても意味がない
チャレンジする農家が少ない

みんなができる「生きもの」と「環境」への配慮による付加価値づくり
購入してもらえる価格帯での創出 佐渡は5割減を選択



■2011年 世界農業遺産 (GIAHS) 認定 (5割減がスタンダート)

■2021年 有機農産品を求めやすい価格にすることへの挑戦
ほぼ同時「みどりの食料システム戦略 (2021)」(2021年5月) 発表



ふゆみずたんぼ



無農薬無化学肥料栽培



魚道の設置



生きものを育む農法

田んぼやその周辺に生きものが
生息できる環境を作る

江の設置

ビオトープの設置

環境と経済が循環するお米づくり～消費者が支える仕組み～

佐渡トキ応援お米プロジェクト



募金総額は約4,000万円、更に朱鷺認証米への理解が深まる

農業が支える多様な「自然」と「伝統文化」



【有機栽培の拡大を生産と消費の両面からのアプローチ】

- ◆農家以外にも有機農業に興味のある人向けの研修会
- ◆保育士向け「子どもたちの体を作る給食」をテーマとした研修
- ◆水田内除草機等の購入支援による有機栽培の拡大支援
- ◆食育への生産者の参加による生産と消費を積極的につなぐ場づくり
- ◆保育園で無農薬無肥料栽培野菜づくり体験を実践し、給食で使う仕組みづくり



【食と農と環境の教育】

- ◆学校給食での無農薬無化学肥料米の積極的な利用
- ◆佐渡の環境ブランドの向上と循環型社会の実現のために
農業の現場だけでなく、子どものころから里山や生物多様性の繋がりを学ぶ

